

このコーナーでは、九州一安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



防災
News
防災士ネットNPO法人化
西諸支部も総会で決意新た



深草支部長は、「学習会などを通して、意識と技術を向上させていきたい」とあいさつしました

県内の防災士でつくる宮崎県防災士ネットワーク（猪狩信浩理事長）が、3月18日、NPO法人に認定されました。同団体は、防災訓練の手助けや会員同士の情報交換、技術向上のため活動しており、現在750人が所属。西諸支部（深草彰三支部長）は平成24年4月に22人で発足し、4月4日現在59人で構成しています。5月17日は、中央公民館で総会を開催。総会後は、新入会員を歓迎する茶話会が行われ、交流を深めました。



防災
News
大雨などに備えて、危険個所の洗い出しや心肺蘇生法学ぶ
野尻町やまびこ公民館で、住民ら60人が参加し防災訓練

災害危険箇所に想定されている、やまびこ公民館（大平山、勝負、見越組）で、風水害を想定した防災訓練が5月18日に行われました。地域住民、消防団や関係者ら65人が参加。災害図上訓練（DIG）や、西諸広域消防本部職員による消火器を使った消火訓練、自動体外式除細動器（AED）による心肺蘇生法などを実習し、災害への備えを学びました。柴昌芳公民館長は「いざとい



まちづくり協議会
News
弁当開発や寺子屋を開設
にっこばまちづくり協が総会

き ずな協働体第1号として昨年6月に設立した「にっこばまちづくり協議会」の総会が、5月14日、西小林地区公民館で行われました。地域住民ら約80人が参加。地域食材を使った弁当の開発や寺子屋の開設など、新年度の事業計画や役員などが承認されました。新会長に選任された貴嶋憲太郎さんは、「地域の将来を担う子どもたちのために、皆で知恵を出し合いながら、地域主導で頑張っていきましょう」とあいさつしました。



安全・防災、健康・福祉や伝統・文化など6つの専門部会では、今年も目玉の企画が目白押しです



写真左) 心肺蘇生法を学ぶ住民 右) 危険個所や助けが必要な家庭などを落とし込み地図を作製



協働により「九州一安心安全なまち 小林市」を目指して

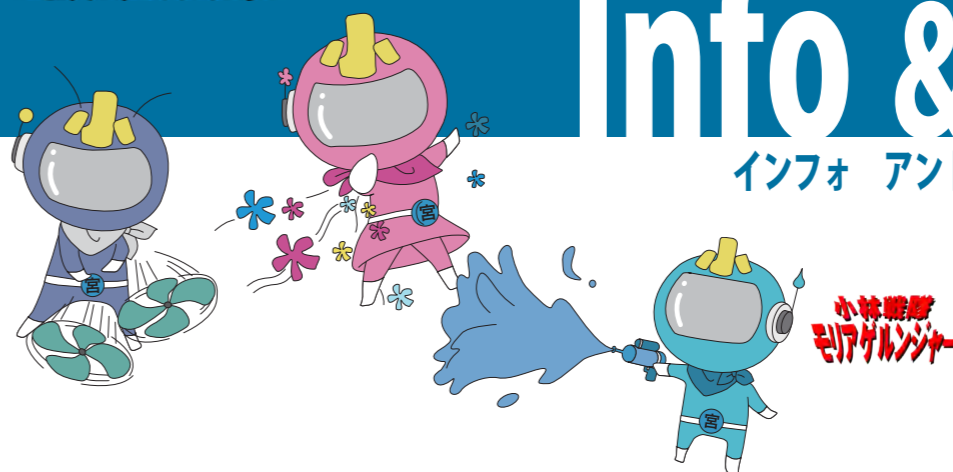
小林戦隊
リアゲルンジャー

も応援。

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース



このイラストは、小林高校3年生 海蔵楓寧さんが（当時・永久津中3年生）小林市の活性化を願い作成したものです。市の自然（花、星、水、虫）がモチーフになっています。



被災者支援
News
市民団体「チーム小林47」
被災者支援に厚労大臣感謝状



肥後市長は「敬意を表します。この支援の経験をまちづくりにも生かしてください」とあいさつ

東 日本大震災の被災者支援に対する厚生労働大臣感謝状の伝達式が4月21日、県庁であり、「チーム小林47」に感謝状が贈られました。30日には、吉村真一会長ら4人が肥後市長を訪問し、受賞や活動経過を報告。避難所での宮崎牛の振る舞い、募金活動や被災地の子どもを夏休みに受け入れてきたことなどを説明し、「支援に際し、多くの助けをいただいた市民や市に感謝し、今後も活動を続けていきたい」と話していました。



交通安全
News
小林ライオンズクラブが
中学1年生にワイヤー錠贈呈

子どもたちの学校や地域での安全確保のため、4月22日に、小林ライオンズクラブが、市教育委員会へ自転車盗難防止用ワイヤー錠480個を贈呈しました。教育長室で行われた贈呈式で、同クラブを代表して高佐良弘さんが「子どもたちの交通安全に役立ててもらいたい。これからも地域の青少年育成のために、継続してこのような事業を行っていききたい」とあいさつ。ワイヤー錠は、市内各中学校の新1年生に配布されます。



佐藤教育長は「地域と連携し安全確保や防犯体制の充実を図っていく」とお礼を述べました